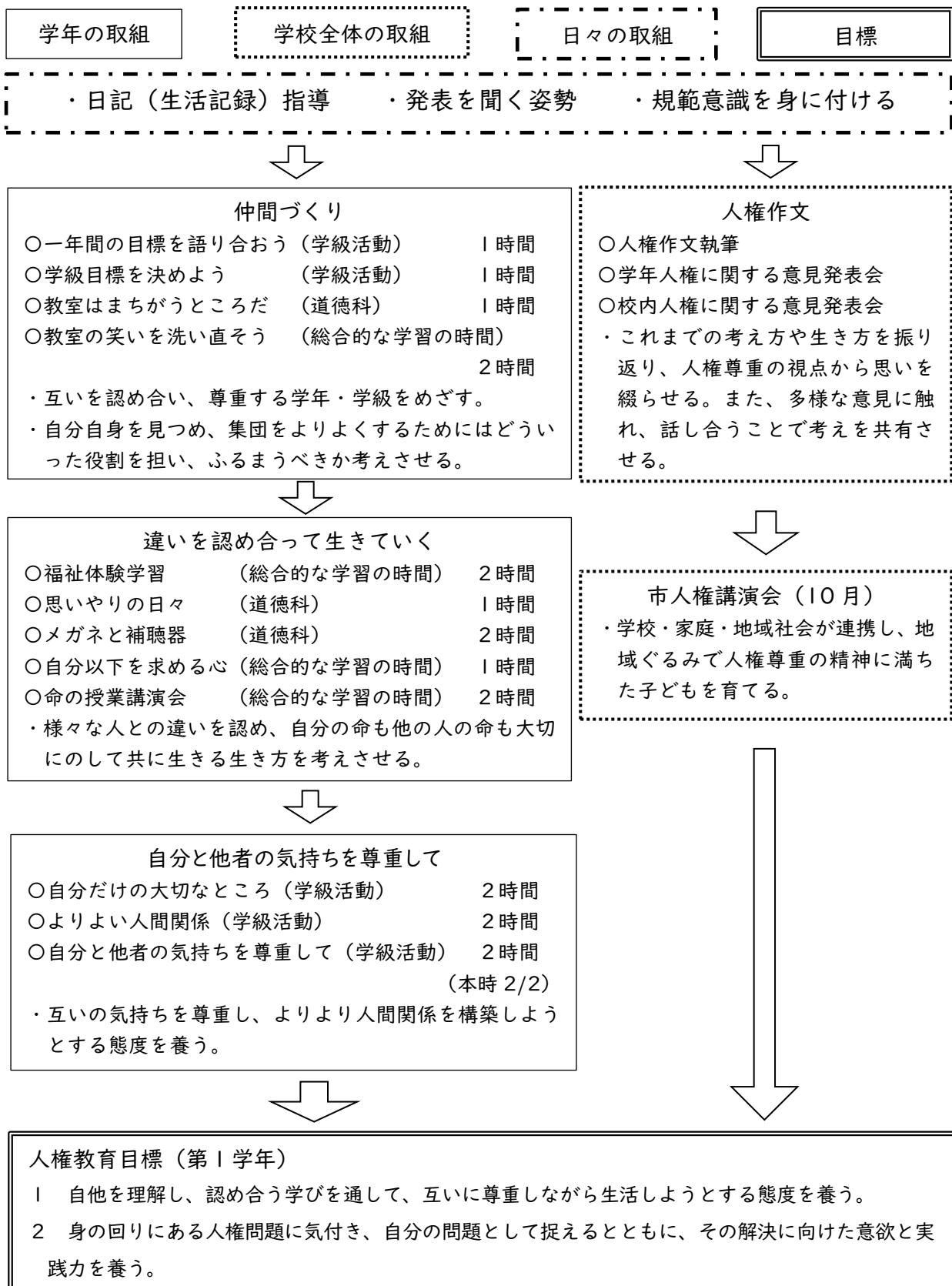


# 第1学年 学級活動（人権）学習指導案

1. 主題 自分と他者の気持ちを尊重して
2. 主題設定の理由（省略）
3. ねらい  
互いの気持ちを尊重し、よりよい人間関係を構築しようとする態度を養う。
4. 指導計画



## 5. 本時の学習

### (1) 目標

デート DV に対してどのように行動すればよいかを理解し、相手を思いやる気持ちや自分の気持ちを相手に伝えることの大切さに気付かせる。また、自分や友達が被害に遭ったときに適切に対応する力を身に付けさせる。

### (2) 個別人権課題名 子ども

### (3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の振り返りを行う。	○SNS による性被害や、被害に遭ったときに心や体に起こることについて振り返らせる。
2 「デート」という言葉から連想されるものを話し合い、本時の目標を確認する。	○生徒のイメージを膨らませながら、デート DV について疑問をもつような発問をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">デート DV について考えよう</div>
3 スライドを見ながら、どのようなことがデート DV になるのか考える。	○補助教材を用いてデート DV がどうして起こるのかということに気付かせる。
4 被害者にも加害者にもならないためにどうすればよいか話し合う。	○デート DV は、被害者・加害者が気付かないうちに起こっていたり、相手のことを思うがゆえに起こってしまったりすることを、ロールプレイなどを通して捉えることができるようとする。 ②③
5 自分や友達が性的な暴力の被害に遭ったらどうすればよいか知る。	○性的な暴力の被害に遭ったときに、自分たちだけで解決しようとするのではなく、相談できる機関や大人に相談するように助言する。 ①
6 まとめをする。	○今までの授業の振り返りをし、自分と他者の気持ちを尊重して生活することを考えさせる。

### (4) 評価

・デート DV に対してどのように行動すればよいかを理解することができたか。

(知識的側面) ①

・自分や友達が被害に遭ったときに適切に対応する力を身に付けることができたか。

(価値的・態度的側面) ②

・友達の意見を受け止め、自分の思いを仲間に伝えることができたか。

(技能的側面) ③